

2014年度（2014年1月～12月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2015年2月3日（火曜日）

2. 業 績

	第4四半期（10月～12月の3ヶ月間）			累計額（1月～12月の12ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,514	百万ドル 5,801	% -4.9	百万ドル 22,728	百万ドル 23,939	% -5.1
税引前当期純利益	百万ドル 1,075	百万ドル 1,028	% 4.4	百万ドル 4,491	百万ドル 4,816	% -6.7
当期純利益	百万ドル 703	百万ドル 675	% 4.2	百万ドル 2,951	百万ドル 3,158	% -6.5
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.57	ドル 1.46	% 7.5	ドル 6.54	ドル 6.80	% -3.8
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.57	ドル 1.45	% 8.3	ドル 6.50	ドル 6.76	% -3.8

配当金の推移		
	当年度（2014年度）	前年度（2013年度）
第1四半期	0.37 ドル	0.35 ドル
第2四半期	0.37	0.35
第3四半期	0.37	0.35
第4四半期	0.39	0.37
合計	1.50 ドル	1.42 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2014 年度第 4 四半期の業績を発表
2015 年度第 1 四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2015 年 2 月 3 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2014 年度第 4 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 58 億ドルから 4.9%減少し、55 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 6 億 7,500 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.45ドル)から 7 億 300 万ドル(同 1.57ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には 600 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、8,300 万ドル(同 0.19ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は 2,800 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.07ドル)でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 100 万ドルと、希薄化後 1 株当たりではほぼゼロでした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(実現損とのネット)は 5,600 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.12ドル)でした。

これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 3,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.09ドル)の益が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債の返済に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクの一部を管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の100.54円から12.2%円安ドル高の114.44円となりました。2014年度通年の平均円／ドル為替レートは、前年度の97.54円から7.5%円安ドル高の105.46円となりました。当四半期及び2014年度通年のドルベースの日本社の成長率は、円安ドル高により、圧迫されました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億5,100万ドルから、5億8,100万ドルとなりました。希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期の1.40ドルから7.9%減少し、1.29ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.08ドル減少しました。あらかじめ見込まれていた当四半期における経費増を主因として、円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、2.1%減少しました。

2014年度通年の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年度の239億ドルから5.1%減少し227億ドルとなりました。当期純利益は前年度の32億ドルから30億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は6.76ドルから6.50ドルとなりました。一方、2014年度通年の事業利益は、前年度の29億ドルから28億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年度の6.18ドルから6.16ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後1株当たりのマイナスの影響0.26ドルを除くと、2014年度通年の希薄化後1株当たり事業利益は3.9%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2014年9月30日現在の1,147億ドルから2014年12月31日現在では1,073億ドルとなりました。

当四半期、当社は5億1,000万ドル相当(860万株)の自己株式を取得しました。その結果、2014年度通年の自己株式の取得は、合計で12億ドル相当(1,970万株)となりました。2014年12月31日現在、当社の自己株式取得承認枠は、2,960万株となっています。

株主持分は、2014年9月30日現在が179億ドル(1株当たり39.63ドル)であったの

に対し、2014年12月31日現在では187億ドル(1株当たり42.30ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益(ネット)は、2014年9月30日現在が34億ドルの益であったのに対して、2014年12月31日現在では47億ドルの益でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で15.4%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で16.3%でした。また、円安ドル高の影響を除くと、18.9%でした。2014年度通年の平均株主持分に対する事業利益率は、為替変動の影響を除き、22.6%でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、再保険出再後で保険料収入は0.2%増加しました。投資収益(ネット)は10.3%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約48%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。前年同期は投資収益の45%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期に比べて1.7%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の19.9%から20.1%へと上昇しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースで2.8%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、2.1%の減少でした。一方、2014年度通年の円ベースの保険料収入は0.1%、投資収益(ネット)は8.8%、収益合計は1.3%、税引前事業利益は3.1%それぞれ増加しました。為替変動の影響を除けば、税引前事業利益は0.3%増加しました。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、大幅な円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は12.0%減少し、32億ドルとなりました。投資収益(ネット)は3.2%減少し、6億4,300万ドルとなりました。収益合計は10.7%減少し、38億ドルに、税引前事業利益は9.7%減少し、7億7,000万ドルとなりました。2014年度通年の保険料収入は7.5%減少し、139億ドルとなりました。投資収益(ネット)は0.4%増加し27億ドルとなりました。収益合計は6.4%減少し166億ドルに、税引前事業利益は4.7%減少し、35億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は 1.5%増の 334 億円(2 億 9,200 万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、28.5%増加しました。主として第一分野商品である「WAYS」の販売が引き続き減少したため、金融機関窓販は 37.6%減少しました。

2014 年度通年の新契約年換算保険料は 23.3%減少して 1,145 億円(11 億ドル)となりました。第三分野商品の販売は、6.1%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 1.2%増加し、13 億ドルに、投資収益(ネット)は 1.8%増加して 1 億 6,100 万ドルとなりました。収益合計は 1.2%増の 15 億ドルとなりました。税引前事業利益率は、前年同期の 14.2%から 13.7%となりました。当四半期の税引前事業利益は 2.2%減の 2 億 100 万ドルとなりました。2014 年度通年の収益合計は 1.2%増の 59 億ドルに、保険料収入は 1.1%増の 52 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 2.1%増加して 6 億 4,500 万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年度比 3.3%増の 11 億ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は 14.1%増加し、4 億 5,400 万ドルとなりました。2014 年度通年の新契約年換算保険料は 0.7%増加して 14 億ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2015 年度第 1 四半期支払いの現金配当を宣言し、これを1株当たり 0.39ドルとしました。この現金配当は、2015 年 2 月 17 日の営業終了時点の登録株主に対し、2015 年 3 月 2 日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「日本社と米国社双方の販売については、大変喜ばしく思っています。より重要なことは、為替変動の影響を除く2014年度通年の希薄化後1株当たり事業利益が3.9%増と、期待値である3%増から4%増の範囲の上限値となったことです。」

「2014年度は、日本社の創業40周年にあたりましたが、特筆すべきは、当四半期の第三分野商品の販売が28.5%増となったことであり、しかも、それが過去2年度にわたり第三分野商品の販売が好調であった第4四半期との比較によるものだという事です。2014年度通年の日本社の第三分野商品の販売成長率は6.1%と、年間の目標値の上限値となりました。販売面については、これまでも、また、これからも、伝統的な販売代理店が成功の鍵となります。私はまた、年度を通じて日本郵政との提携関係の強化が続き、当社のがん保険を取扱う郵便局と販売担当者が増加したことを、大変うれしく思っています。当四半期、すべての販売チャネルの合計で、がん保険の販売は前年同期比176%増という素晴らしい結果となりました。2015年の日本社の第三分野商品の販売については、最初の9ヶ月は平均で15%増となる見込みです。一方、2015年第4四半期は、厳しい比較に直面するため、前年同期比大幅に減少する可能性があるものと考えています。しかしながら、これまで常にそうしてきたように、当社はこの減少を最小化すべく努力を重ねてまいります。本年第2四半期末には、より多くの情報に基づく見通しを持てると思っていますので、その時点で第4四半期についての追加的な販売目標をお伝えします。」

「米国社については、当四半期に予想を上回る14.1%増の販売実績を挙げたことを、私は大変うれしく思っています。当四半期の強い販売は、2014年度通年の販売を0.7%増加させることにつながりました。この実績は、直近の年間販売予想を大幅に上回るものとなりました。専属チャネルとブローカーチャネルの双方に対して、2014年に実行した米国社の販売体制の改編が、このような成果につながったことを喜ばしく思います。一つの四半期の実績がそのままその後の傾向となるわけではありませんが、

私は、短期間にここまで来られたことに勇気づけられています。しかしながら、私は、2015 年度上半期の結果を見るまでは、米国社の販売が真に転換点を通過したと言うつもりはありません。以上を踏まえて、私は引き続き前向きの姿勢をとり、米国社の2015 年度の販売が3%増から7%増の間になるものと確信して、5%増を目標としたいと思います。」

「米国法定会計基準の財務諸表はまだ完成していませんが、2014 年度の当社のリスク調整後自己資本比率(RBC 比率)は引き続き非常に強く、第3 四半期末における推計値を超えているものと見えています。また、金利の大幅な低下により、運用資産における未実現益が大きく増加した結果、当四半期末の日本社のソルベンシー・マージン比率は著しく改善し、850%を超えているものと見えています。」

「当社は昨年10月1日、新たな再保険契約を締結し、日本社における法定準備金約550 億円が減少しました。この再保険取引の半分については、昨年末、Aflac Incorporated の子会社に対して再出再されました。」

「長年にわたり申し上げていることですが、現金配当の増配と自己株式の取得が資本の活用にとって最も魅力的な方法であると確信しています。2014 年度には、12 億ドルあるいは1,970 万株の自己株式を取得しましたが、これは昨年10月に申し上げた通りの実績です。また、2015 年度については、現在、13 億ドルの自己株式の取得を計画しています。さらに、前四半期にお話しましたように、当社は、当四半期の現金配当についても5.4%増配しました。これにより、当社は32年間連続で現金配当を増配したことになります。当社は、一般的に為替変動の影響を除いた事業利益の増加率に合わせて現金配当を増額することを目標としています。」

「改めて申し上げますが、私は、1株当たり事業利益の成長が目標値の上限を達成して2014 年度を終えることができたことを大変喜ばしく思っています。しかし、この実績は、翌2015年度を考えると、困難な比較をもたらします。2015年度の為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益成長目標は、引き続き2%増から7%増です。現在の金融市場は全般的に困難な状況にあり、金利は著しく低い水準にあるため、

当社のキャッシュフローを魅力的な利回りで運用することは困難です。したがって、当社は、日本での第一分野商品の販売については慎重を期しています。このことにより、投資に向かうキャッシュフローは減少します。また、これまで当社にとって有利な方向にあった日米の保険金給付金比率の動向も、当社の業績に大きな影響を及ぼす可能性があることを思い起こしていただきたいと思います。常にそうしてきたことですが、当社は引き続き 1 株当たり利益目標達成のため、懸命に努力するとともに、ご契約者の皆様へのお約束をお守りして行く所存です。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60 年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社で、日本では 4 世帯に 1 世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は 8 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2014 年、『フォーチュン』誌は当社を 16 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、13 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFLF としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様相を 2015 年 2 月 4 日 (水曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部冬時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
収益合計	5,514	5,801	-4.9%
保険金給付金	3,069	3,396	-9.6%
新契約費及び事業費合計	1,370	1,377	-0.4%
税引前当期純利益	1,075	1,028	4.4%
法人税等	372	353	
当期純利益	703	675	4.2%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.57	1.46	7.5%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.57	1.45	8.3%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	446,370	462,058	-3.4%
希薄化後	449,030	465,505	-3.5%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.39	0.37	5.4%

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>2014年</u>	<u>2013年</u>	<u>増減率</u>
収益合計	22,728	23,939	-5.1%
保険金給付金	12,937	13,813	-6.3%
新契約費及び事業費合計	5,300	5,310	-0.2%
税引前当期純利益	4,491	4,816	-6.7%
法人税等	1,540	1,658	
当期純利益	2,951	3,158	-6.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	6.54	6.80	-3.8%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	6.50	6.76	-3.8%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	451,204	464,502	-2.9%
希薄化後	454,000	467,408	-2.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.50	1.42	5.6%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

12月31日現在:

	2014年	2013年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	107,341	108,459	-1.0%
繰延新契約費	8,273	8,798	-6.0%
その他の資産	4,153	4,050	2.5%
資産合計	119,767	121,307	-1.3%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	83,933	89,402	-6.1%
社債等	5,282	4,897	7.9%
その他の負債	11,836	12,388	-4.5%
株主持分	18,716	14,620	28.0%
負債および株主持分合計	119,767	121,307	-1.3%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	442,445	459,413	-3.7%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	581	651	-10.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	28	-97	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-1	-5	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	56	108	
その他及び非経常的(損)益	39	18	
当期純利益	703	675	4.2%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.29	1.40	-7.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.07	-0.21	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-	-0.01	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.12	0.23	
その他及び非経常的(損)益	0.09	0.04	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.57	1.45	8.3%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した12ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	2,797	2,887	-3.1%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	119	41	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-24	-17	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	16	229	
その他及び非経常的(損)益	43	18	
当期純利益	2,951	3,158	-6.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	6.16	6.18	-0.3%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.26	0.09	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.05	-0.04	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.03	0.49	
その他及び非経常的(損)益	0.10	0.04	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	6.50	6.76	-3.8%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2014年12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-8.6%	0.4%
投資収益(ネット)	-2.2%	3.4%
保険金給付金および事業費合計	-7.0%	1.9%
事業利益	-10.7%	-5.1%
希薄化後1株当たり事業利益	-7.9%	-2.1%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2014年12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-5.3%	0.4%
投資収益(ネット)	0.8%	4.4%
保険金給付金および事業費合計	-4.6%	1.0%
事業利益	-3.1%	0.9%
希薄化後1株当たり事業利益	-0.3%	3.9%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2015年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2014年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$6.47 - \$6.77	5.0% - 9.9%	\$ 0.18
105.46*	\$6.29 - \$6.59	2.1% - 7.0%	\$ -
115	\$6.01 - \$6.31	-2.4% - 2.4%	\$ -0.28
125	\$5.77 - \$6.07	-6.3% - -1.5%	\$ -0.52
135	\$5.56 - \$5.86	-9.7% - -4.9%	\$ -0.73

*実際の2014年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するように奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・他の金融機関の信用力の低下
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・法律及び政府当局による規制の変化

- ・優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・繰り延べられたキャピタル・ロスに係る税務上の恩典を認識することができない状況
- ・訴訟の内容及び結果
- ・主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・保険業界における継続的な変化
- ・当社の評判を悪化させる出来事
- ・内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Fourth Quarter Results,
Declares First Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. – February 3, 2015 – Aflac Incorporated today reported its fourth quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues fell 4.9% to \$5.5 billion during the fourth quarter of 2014, compared with \$5.8 billion in the fourth quarter of 2013. Net earnings were \$703 million, or \$1.57 per diluted share, compared with \$675 million, or \$1.45 per share, a year ago.

Net earnings in the fourth quarter of 2014 included after-tax net realized investment gains of \$83 million, or \$.19 per diluted share, compared with net after-tax gains of \$6 million, or \$.01 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains from securities transactions in the quarter were \$28 million, or \$.07 per diluted share. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis, were \$1 million in the quarter, or nil per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$56 million, or \$.12 per diluted share. In addition, net earnings included a gain of \$39 million, or \$.09 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the fourth quarter of 2014 was 114.44, or 12.2% weaker than the average rate of 100.54 in the fourth quarter of 2013. For the full year, the average exchange rate was 105.46, or 7.5% weaker than the rate of 97.54 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the fourth quarter and the full year were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the fourth quarter were \$581 million, compared with \$651 million in the fourth quarter of 2013. Operating earnings per diluted share decreased by 7.9% to \$1.29 in the quarter, compared with \$1.40 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.08 for the fourth quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per diluted share decreased 2.1%, due primarily to anticipated increased spending in the fourth quarter.

Results for the full year of 2014 were also suppressed by the weaker yen. Total revenues were down 5.1% to \$22.7 billion, compared with \$23.9 billion for the full year of 2013. Net earnings were \$3.0 billion, or \$6.50 per diluted share, compared with \$3.2 billion, or \$6.76 per diluted share, for the full year of 2013. Operating earnings for the full year of 2014 were \$2.8 billion, or \$6.16 per diluted share, compared with \$2.9 billion, or \$6.18 per diluted share, in 2013. Excluding the negative impact of \$.26 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share rose 3.9% for the full year of 2014.

Total investments and cash at the end of December 2014 were \$107.3 billion, compared with \$114.7 billion at September 30, 2014.

In the fourth quarter, Aflac repurchased \$510 million, or 8.6 million shares, of its common stock. For the full year, the company purchased \$1.2 billion, or 19.7 million of its shares. At the end of December, the company had 29.6 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$18.7 billion, or \$42.30 per share, at December 31, 2014, compared with \$17.9 billion, or \$39.63 per share, at September 30, 2014. Shareholders' equity at the end of the fourth quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$4.7 billion, compared with a net unrealized gain of \$3.4 billion at the end of September 2014. The annualized return on average shareholders' equity in the fourth quarter was 15.4%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 16.3% for the fourth quarter, or 18.9%, excluding the impact of the yen. For the full year, operating return on average shareholders' equity, excluding currency, was 22.6%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income, net of reinsurance, increased .2% in the fourth quarter. Net investment income increased 10.3%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 48% of Aflac Japan's fourth quarter investment income was dollar-denominated, compared with 45% a year ago. Total revenues were up 1.7% in the fourth quarter. The pretax operating profit margin increased in the fourth quarter to 20.1% from 19.9% in the prior year. Pretax operating earnings in yen increased 2.8% on a reported basis but decreased 2.1% on a currency-neutral basis. For the full year, premium income in yen increased .1%, and net investment income rose 8.8%. Total revenues in yen were up 1.3%, and pretax operating earnings in yen grew 3.1%. On a currency-neutral basis, pretax operating earnings grew .3%.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the fourth quarter were suppressed as a result of the significantly weaker yen/dollar exchange rate. Premium income decreased 12.0% to \$3.2 billion in the fourth quarter. Net investment income decreased 3.2% to \$643 million. Total revenues decreased 10.7% to \$3.8 billion. Pretax operating earnings declined 9.7% to \$770 million. For the full year, premium income was \$13.9 billion, or 7.5% lower than a year ago. Net investment income increased .4% to \$2.7 billion. Total revenues were down 6.4% to \$16.6 billion. Pretax operating earnings were \$3.5 billion, or 4.7% lower than a year ago.

In the fourth quarter, total new annualized premium sales rose 1.5% to ¥33.4 billion, or \$292 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 28.5% in the quarter. Bank channel sales decreased 37.6%, primarily reflecting continued declines in sales of the company's first sector WAYS product.

For the full year, new annualized premium sales were down 23.3% to ¥114.5 billion, or \$1.1 billion. Third sector sales increased 6.1% for the full year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 1.2% to \$1.3 billion in the fourth quarter. Net investment income was up 1.8% to \$161 million. Total revenues increased 1.2% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin was 13.7%, compared with 14.2% a year ago. Pretax operating earnings were \$201 million, a decrease of 2.2% for the quarter. For the full year, total revenues were up 1.2% to \$5.9 billion and premium income rose 1.1% to \$5.2 billion. Net investment income increased 2.1% to \$645 million. Pretax operating earnings were \$1.1 billion, 3.3% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 14.1% in the quarter to \$454 million. For the full year, total new sales increased .7% to \$1.4 billion.

DIVIDEND

The board of directors declared the first quarter cash dividend. The first quarter dividend of \$.39 per share is payable on March 2, 2015, to shareholders of record at the close of business on February 17, 2015.

OUTLOOK

Commenting on the company's fourth quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are extremely pleased with our sales in Japan and the U.S. More importantly, our 2014 operating earnings per diluted share growth of 3.9% excluding currency was at the high end of our 3% to 4% expectation.

"With 2014 marking Aflac Japan's 40th year of operations, it is especially impressive that third sector sales increased 28.5% in the fourth quarter, particularly in comparison to strong third sector sales results that came in the fourth quarter of the prior two years. Aflac Japan's third sector sales growth for the year was 6.1%, which was at the high end of our annual sales target. On the distribution side, our traditional agencies have been, and remain, key to our success. I'm also pleased that we continued to build on our partnership with Japan Post throughout the year, expanding the number of postal outlets and their agents selling our cancer products. Cancer insurance sales through all distribution outlets were up an impressive 176% for the quarter. As we look ahead to 2015, we believe that for the first nine months, third sector sales will average a 15% increase. With fourth quarter sales facing difficult comparisons, we believe third sector sales in the final quarter of 2015 could be down sharply. However, as always, we will be working to find ways to minimize that decline. At the end of the second quarter, when we have more insight, we will give additional guidance on the fourth quarter.

"Turning to Aflac U.S., I am very pleased with our fourth quarter sales results, which surpassed our expectations, increasing 14.1%. The strong fourth quarter sales drove annual sales results to an increase of .7%, which significantly exceeded our most recent sales expectation for the year. It is rewarding to see the changes we made to our sales organization in 2014, both in the career agent channel and the broker channel, yielded such promising results. Although one quarter doesn't make a trend, I am very encouraged with how far we've come in a short period of time. However, I am not willing to say we've had a sales turnaround until I see first half sales results in 2015. Saying that, I remain encouraged and believe we should have a 3% to 7% increase in U.S. sales, with a target of 5%.

"Although we have not yet finalized our statutory financial statements, we estimate our 2014 risk-based capital ratio, or RBC, remained very strong and will exceed the third quarter estimate. Additionally, as a result of a significant decline in interest rates that led to substantial unrealized gains in the investment portfolio, Aflac Japan's solvency margin ratio, or SMR, improved significantly, and we expect that it will be above 850%.

"We entered into a new reinsurance agreement on October 1, which released approximately ¥55 billion of Aflac Japan's regulatory reserves. Half of that transaction was retroceded to an Aflac Incorporated subsidiary at the end of the year.

"As we have said for many years, we believe that growing the cash dividend and repurchasing our shares are the most attractive means for deploying capital. In 2014, we repurchased \$1.2 billion, or 19.7 million

of our shares, which is consistent with what we had communicated last October. We currently plan to repurchase \$1.3 billion of our shares in 2015. As we indicated last quarter, we also increased the cash dividend 5.4%, effective with the fourth quarter, marking the 32nd consecutive year in which we've increased the cash dividend. Our objective is to grow the dividend at a rate generally in line with the increase in operating earnings before the impact of foreign currency translation.

"Once again, I was very pleased that we ended the year with our operating earnings per share at the high end of our 2014 estimate, although that result creates a tougher comparison when we look to 2015. Our objective remains to grow 2015 operating earnings per diluted share before currency 2% to 7%. Because overall financial markets are currently very challenging and interest rates are at significantly depressed levels, it is difficult to invest cash flows at attractive yields. Therefore, we will be very disciplined in selling first sector products in Japan, which will reduce cash flows to investments. I would also remind you that the progression of this year's benefit ratios in both the U.S. and Japan, which have seen favorable trends, could also have a significant impact on our results. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. In Japan, Aflac insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For eight consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2014, FORTUNE magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 16th consecutive year. Also, in 2014, FORTUNE magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 13th time, ranking the company number one in the life and health insurance category. Aflac Incorporated is a FORTUNE 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EST) on Wednesday, February 4, 2015.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,514	\$ 5,801	(4.9)%
Benefits and claims	3,069	3,396	(9.6)
Total acquisition and operating expenses	1,370	1,377	(.4)
Earnings before income taxes	1,075	1,028	4.4
Income taxes	372	353	
Net earnings	\$ 703	\$ 675	4.2%
Net earnings per share – basic	\$ 1.57	\$ 1.46	7.5%
Net earnings per share – diluted	1.57	1.45	8.3
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	446,370	462,058	(3.4)%
Diluted	449,030	465,505	(3.5)
Dividends paid per share	\$.39	\$.37	5.4 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 22,728	\$23,939	(5.1)%
Benefits and claims	12,937	13,813	(6.3)
Total acquisition and operating expenses	5,300	5,310	(.2)
Earnings before income taxes	4,491	4,816	(6.7)
Income taxes	1,540	1,658	
Net earnings	\$ 2,951	\$ 3,158	(6.5)%
Net earnings per share – basic	\$ 6.54	\$ 6.80	(3.8)%
Net earnings per share – diluted	6.50	6.76	(3.8)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	451,204	464,502	(2.9)%
Diluted	454,000	467,408	(2.9)
Dividends paid per share	\$ 1.50	\$ 1.42	5.6 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

DECEMBER 31,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$107,341	\$ 108,459	(1.0)%
Deferred policy acquisition costs	8,273	8,798	(6.0)
Other assets	4,153	4,050	2.5
Total assets	\$119,767	\$ 121,307	(1.3)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 83,933	\$ 89,402	(6.1)%
Notes payable	5,282	4,897	7.9
Other liabilities	11,836	12,388	(4.5)
Shareholders' equity	18,716	14,620	28.0
Total liabilities and shareholders' equity	\$119,767	\$ 121,307	(1.3)%
Shares outstanding at end of period (000)	442,445	459,413	(3.7)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 581	\$ 651	(10.7)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	28	(97)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(1)	(5)	
Impact of other derivative/hedging activities	56	108	
Other and non-recurring income (loss)	39	18	
Net earnings	\$ 703	\$ 675	4.2%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.29	\$ 1.40	(7.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.07	(.21)	
Hedge costs related to foreign currency investments	–	(.01)	
Impact of other derivative/hedging activities	.12	.23	
Other and non-recurring income (loss)	.09	.04	
Net earnings per diluted share	\$ 1.57	\$ 1.45	8.3%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,797	\$ 2,887	(3.1)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	119	41	
Hedge costs related to foreign currency investments	(24)	(17)	
Impact of other derivative/hedging activities	16	229	
Other and non-recurring income (loss)	43	18	
Net earnings	\$ 2,951	\$ 3,158	(6.5)%
Operating earnings per diluted share	\$ 6.16	\$ 6.18	(.3)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.26	.09	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.05)	(.04)	
Impact of other derivative/hedging activities	.03	.49	
Other and non-recurring income (loss)	.10	.04	
Net earnings per diluted share	\$ 6.50	\$ 6.76	(3.8)%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2014	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(8.6)%	.4%
Net investment income	(2.2)	3.4
Total benefits and expenses	(7.0)	1.9
Operating earnings	(10.7)	(5.1)
Operating earnings per diluted share	(7.9)	(2.1)

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2014	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(5.3)%	.4%
Net investment income	.8	4.4
Total benefits and expenses	(4.6)	1.0
Operating earnings	(3.1)	.9
Operating earnings per diluted share	(.3)	3.9

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2015 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2014</u>	<u>Yen Impact</u>
100	\$ 6.47 - 6.77	5.0 - 9.9%	\$.18
105.46*	6.29 - 6.59	2.1 - 7.0	-
115	6.01 - 6.31	(2.4) - 2.4	(.28)
125	5.77 - 6.07	(6.3) - (1.5)	(.52)
135	5.56 - 5.86	(9.7) - (4.9)	(.73)

*Actual 2014 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector concentration of business in Japan; decline in creditworthiness of other financial institutions; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; inability to recognize tax benefits associated with capital loss carryforwards; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; ongoing changes in our industry; events that damage our reputation; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###